**5月23日　インターンシップ・ガイダンス：NPO法人ETIC.　関根　純　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

これからの学びのテーマ、「人」と「共同体」ということが印象的でした。最近、経営者の方の話を聞く機会がよくありますが、その中で共通しているのは周りの人を大事にするということです。私が将来、経営者と従業者のどちらになるかはわかりませんが、思いやりは大事にしたいと思いました。今まで、インターンシップというものが漠然としていましたが、今日の講義を聞いて現実的になってきました。そういった機会が身近にあって恵まれた環境にいるなと感じます。どこで、誰の下でインターンシップをするか、しっかり考えて決めたいと思います。(経営学部　経営学科　1年)

今回、関根さんの講義を聞いて、今まで自分にはあまり馴染みのなかったインターンシップについてよく知ることができた。仕事量や期間によって分類したり、企業へのインターンだけでなく地域にインターンする事業を行ったりなど、とても興味深かった。インターンシップを就活のために行うのではなく、能力のアウトプットや自分の「できる」ことの確認のために行うという、あたり前のようで、なかなか忘れられがちなことを再認識することが出来た。（都市科学部　環境リスク共生学科　1年）

これまでの学びは正解を覚えて、それをパズルに当てはめていくように実践するだけのものだったが、これからの「未来の遊び」は正解のない社会、人生100年の世界で自ら問いを設定し、実践していく中で知識と知恵を活用していくものという言葉が印象に残りました。正解のない社会で自分らしさを確立しいていくことが大切とわかりました。私はインターンシップがどのようなものかよくわかりませんでしたが、今回の講義で大体の概要がわかった気がします。日本の採用事情が参加してきている中で、インターンシップで実践的な学びが出来て、実際に会社とつながれる場があるというのはとてもいいなと思いました。(経営学部　経営学科　1年)

自分が一番印象に残った言葉は、「自分らしく生きるために必要な形は何か？」というものです。今まで自分らしさのための学びがあるなんて考えたこともなく、自分らしさは今後、獲得していくことが出来るのではないかと思って、とても勇気が出ました。初めてインターンシップの説明をしっかりと聞くことができ、とてもためになりました。インターンシップは就業体験なので仕事内容も添え物のようなものかな、と思っていましたが、がっつり事業に参加するものもあって、驚きました。また、アルバイトと正社員の違いは期待値であり、正社員である以上、自分には裁量が与えられ、自分で考え成果を追求しなければいけない、という言葉は自分の仕事に対する考え方を大きく変えてくれました。（経営学部　１年）

今日はお話してくださってありがとうございました。今までのリーダーシップの授業で講演者の方全員に対して感じていたのが、どの方も自分の軸をしっかりと持っているということでした。大学では自分の意見・アイデアを発表する機会がなかなかないため、自分の力を磨くためにインターンシップはいい経験になるのだと感じました。大学１・２年のうちにインターンシップをやってみたいなと。漠然と考えていましたが、今日のお話でインターンシップについてよく理解できて、具体的なプランを定めることができました。「単なるアルバイトではなく。起業家と一緒に新しい世界を作っていく」という言葉が印象に残りました。正解のない中で考え、苦しい思いをすることもあるけれど、試行錯誤・失敗を通じて自分の軸を見つけることの重要性を痛感しました。自分の生きる姿勢が誰のために働くのかということをインターンシップで見つけてきたいです。 (経営学部　経営学科　1年)

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

できることをずっとやっていても新しいことができるようにならず、新しい壁にぶつかることにより、自分を成長させていくことができる。フリーな時間が多い大学生の間に、インターンシップを始め、何でもトライしていくことが大切であるから、していこうと思った。（理工学部　建築都市・環境系2年）

インターンはそのリーダーと一緒に世界を作ろうという気持ちが必要だと思う。学校での学習した内容をアウトプットするために、長期的なインターンシップをしたい。（経営学部　２年）

大学の中で学んだことを自分のものにしていくために、能動的に授業を受けていきたいですし、自分の特性や弱みを自覚し、明確化していくことでそれを克服。強化し、将来につながる4年間にしたいです。また今回の講義でまなんだインターンシップの概要を自分のなかで咀嚼し、実際に参加していこと思います。インターンシップはアルバイトとは違うという責任と覚悟をもっていかなければいけないと考えるので生半可な気持ちで終わることのないようにしたいです。(経営学部　経営学科　1年)

入学に入ってからずと有機化学について深く学び自身の研究につなげたいと考えていたが、一週間前にほかの学問の魅力を感じ約２年貫いていた軸が崩れ始めている。このことと本日学んだことを結びつけた時に今まで机上での学問に満足し、未来に対して目を向けてこなかったのではないかと考えさせられた。そのほか、他人だけでなく、過去の自分にも言われるがままにならず、ここ数年という短い期間をどのように自分らしく生き、後悔しないかということをしっかり考えて行動に移し、その結果を社会にでたあとの自分の数十年の人生に生かしたいです。(理工学部　化学生命学科2年)

**授業スタッフの感想**

今回の講義を聞いて、今まであまりよく知らなかったインターンシップが身近なものに感じることが出来ました。私が興味を持っているのは「地域ベンチャー留学」です。私が高校生の時、オープンキャンパスに参加した際に、この宣伝チラシが掲示板に貼り出されているのを見て、とても魅力を感じていました。地域に根付いた企業での職場で働くという経験は、なかなか貴重で重要だと思うので、２年次の夏に参加しようと計画しています。次回、講演をされる古俣氏が経営されているピクスタ株式会社は、ネットでもよく見かけるので、お話を伺えるのが楽しみです。

私は大学入学前からインターンシップに興味をもっていたが具体的なことは何も考えていなかった。でも関根さんのお話でインターンシップは時間的拘束も長いのでどう上手く時間を作るのか考えさせられた。関根さんから、部活や留学などもあると思うが大学4年間の中でセメスターごとに何に重きを置くのかを考えてプランニングしていけばいいというアドバイスを1年生のはやいうちに聞けて良かった。今聞いていなかったら絶対あとで後悔することになっていたと思う。